

2025 年度 小規模多機能ホームネバーランド事業報告書

1. 施設の概要

(事業の種類)

- ・介護保険法に基づく指定小規模多機能型居宅介護
- ・介護保険法に基づく指定介護予防小規模多機能型居宅介護
- ・短期利用居宅介護事業

(定員) 登録定員 29 名 (通い 18 名 泊り 9 名)

(対象) 介護保険の認定を受けられた方・姫路市在住の方

(営業日) 24 時間 365 日

2. 職員配置

	基準数	現員
管理者	1	1
介護計画作成担当者	1	1
看護職員	1	1
介護職員	日中利用者 3 人に対して 1 名配置	11

3. 利用、支援状況

(1) 通いと泊りの方の 1 日の流れ (※訪問は随時)

7:00	起床、洗面、着替え
7:30 頃	朝食、口腔ケア
8:30	通い迎え
9:00	健康チェック
9:30 頃	入浴
10:00 頃	介護予防体操・歩行練習・レクリエーション
11:45	食事前体操
12:00	昼食、口腔ケア
14:00	介護予防体操・レクリエーション・趣味活動・散歩
15:00	喫茶
16:00 頃	通い送り
18:00	夕食、口腔ケア
20:00 頃	ナイトケア・就寝

(2) 平均年齢

単位：人

	男性	女性
66～70 歳	0	0
71～75 歳	1	1
76～80 歳	1	1
81～85 歳	2	1
86～90 歳	6	3
91～95 歳	4	4
96～100 歳	0	0
小計	14	10
合計	24	
平均年齢	86.7 歳	
(男性 87 歳 女性 86.5 歳)		

最高年齢	95 歳
------	------

最低年齢	71 歳
------	------

(3) 行事、外出

	行事、外出		行事、外出
4 月	お花見ドライブ	10 月	秋桜壁画作り
	お花見会		秋の運動会
	おはぎ作り		秋祭りの屋台の練歩きの観覧
	テイクアウトお茶会		コスモス畑ドライブ
	鯉のぼりタペストリー作り	11 月	紅葉壁画作り
5 月	ネバーランド農園いちご狩り		季節のご飯作り
	テイクアウトお茶会 (こびとパン)		テイクアウトお茶会 (パパン)
	紫陽花壁画作り	12 月	クリスマス壁画作り
6 月	お汁粉作り		忘年会 (すし官太テイクアウト)
	かき氷実演	1 月	クリスマス会
	タペストリー作り		瑞岡神社初詣
7 月	朝顔壁画作り		福笑い作り
	七夕飾り		瑞岡地区とんど
	七夕会		テイクアウトお茶会
	トマト収穫	2 月	節分豆まき
	瑞岡神社神事		テイクアウトお茶会 (御座候)
8 月	テイクアウトお茶会	3 月	椿壁画作り
	ひまわり壁画作り		テイクアウトお茶会 (手毬)
	かき氷実演		ネバーランド農園手入れ
	ミニ運動会		
9 月	葡萄壁画作り		
	テイクアウトお茶会 (手毬)		
	敬老会		
	芋掘り		

4. 目標と実績

(目標)

平均登録数	目標	結果	達成率
	23 名／月	15.5 名／月	67%

(実績)

2026 年 3 月 31 日 現在

単位数：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均 (年)
利用人数 (登録)	17	16	15	16	16	17	16	15	15	15	14	14	15.5
通い (実績)	377	337	287	354	353	286	298	276	271	273	274	309	307.9
通い 1 日 平均	12.6	10.9	9.6	11.4	11.4	9.5	9.6	9.2	8.7	8.8	9.8	9.9	10.1
訪問 (実績)	193	214	204	226	220	164	164	161	157	147	186	192	185.6
訪問 1 日 平均	6.4	6.9	6.8	7.3	7.1	5.5	5.3	5.4	5.1	4.7	6.6	6.1	6.1
宿泊 (実績)	254	188	169	163	167	168	152	147	136	159	151	185	169.9
宿泊 1 日 平均	8.5	6.1	5.7	5.3	5.4	5.6	4.9	4.9	4.4	5.1	5.4	5.9	5.6
平均 介護度	2.3	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4

利用者登録・介護度の推移 2019 年度～2025 年度

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
平均登録者数	14.8	12.8	11.8	18.6	20.7	18.2	15.5
平均介護度	2.5	3.2	3.3	2.5	2.6	2.5	2.4
新規登録者数	5.0	10.0	11.0	19.0	9.0	9.0	7.0
登録解除者数	9.0	10.0	9.0	9.0	9.0	10.0	10.0

5. 事業計画に対する結果と考察

○サービスの向上

・2025 年度は、手芸、おやつ、園芸等のクラブ活動を取り入れ、余暇時間の充実を図った。加えて、月に一度の甘味等のテイクアウトも引き続き実施した。利用者自身で「選ぶ」楽しみもありとても喜んで頂けた。感染症対策を講じながら、たこ焼やおやつ作りのイベントを実施することが出来た。テイクアウト・外食等のイベント・クラブ活動は、今後も継続し登録後も満足していただけるようなサービスを提供していく。

・安心して日々過ごしていただけるように、職員の質の向上に努めた。職員より、介護に対しての不安な所や悩み等を聞いた上で職員全体の課題をあげ定期的に職員全体の勉強会を行った結果、介護業務に関する意識改革が行えた。しかし異動職員や一部の職員には浸透しておらず、今後も引き続き勉強会等を実施し職員の質の向上に努める。

○事業所周知拡大

2025 年度の運営推進会議は、年間 6 回当施設で実施したが、人数を制限しての開催であった。その為地域のニーズまでは把握することが出来なかった。2024 年度は参加人数の制限の見直しを行い、＜地域のニーズ＞や＜困りごと＞の把握に努め、地域へ情報発信し事業所の周知拡大を図る。

○介護度見直し

日々利用者の状態を全職員が把握し、適切な介護度であるかを見極めるため随時カンファレンスを行った。その上で必要であれば区分変更を行い、適切な利用・運営を行うことが出来た。

○減収予防

2025 年度は入院件数が 6 件あり、その内 2 件が自宅転倒による骨折、2 件が誤嚥性肺炎、1 件が尿路感染症、1 件がコロナ感染症罹患による入院であった。これらの入院の要因には予防可能な入院も含まれると考えられる。そのことより、リスクを減らす取り組みを行わなければならない。その為には、

転倒骨折 → リビングや居室内の環境を整える。福祉用具や靴などの再検討。アセスメントの強化。

誤嚥性肺炎 → 食事形態・トロミの見直し。食事の際の姿勢・ポジショニングの再確認。

尿路感染症 → 排泄ケア時間・方法の見直し。水分量・方法の再検討。

感染症への罹患 → 平常時より感染症対策を徹底して励行。

以上の対策を実施し、入院のリスクを可能な限り減らし、減収予防に努める。

○登録者数・収益を増やす為の対策

連泊者等の増加により利用の偏りが生じ、新規利用者の獲得が出来ず減収に繋がってしまっているため、連泊者には当法人の特別養護老人ホームやグループホーム等への入所を検討し、バランスの取れた利用を目指し収益の増加に繋げる。

また、外部からの新規利用者を獲得する為にも、必ず月に一度は近隣居宅、地域包括、医療関係機関へ訪問し、紹介後には利用者の状況を報告する等アフターフォローをきちんと行う事で、各関係者と良好な関係を築き、登録者数の増加に繋げる。